



松岡 養護施設長

小紫 生駒市長

「元気いっぱい漕ぎましょう」

理事長 辻村泰範

梅寿荘には生駒市で最高齢満百八歳のおばあちゃまが暮らしておられます。

明治、大正、昭和、平成そして令和と長寿をつないでこられました。きっと厳しい時代や苦勞を乗り越えてこられたのでしょね。さすがに最近はいくらイングの車椅子で日中はお過ごしです。敬老会には綺麗なネックスとブローチでお化粧をしてニコリと微笑んでおられました。

梅寿荘は昭和四十七年の創設ですが、その頃は百歳を超えるような人は全国でも非常に珍しくもちろん梅寿荘にもおられませんでした。十年がたった昭和五十七年に発行された法人の認可三十年記念誌「縁」によりますと、昭和五十七年の梅寿荘入荘者は百十名。平均年齢は女性七十八歳、男性七十六・八歳。最高齢者は女性の九十五歳、男性八十九歳とあります。今では先の百八歳の方の他に百歳を超える方が二名おられますので文字通り隔世の感です。

ふと口をついて出てきた童謡の歌詞。

「村の渡し船頭さんは 今年六十のおじいさん、年を取ってもお船をこぐ時は 元気いっぱい船がしなる ソレギツチラ ギツチラ ギツチラコ」

戦時中の童謡で、国民は子どもも年寄りもお国のために尽くすことを鼓舞する意図の歌だったそうです。もちろん今では川の渡し船など無くなってしまいましたが、梅寿荘のお年寄りの中には実際に渡し船を利用したという人もあるかもしれませんね。六十歳で年をとったおじいさんなどと思われていたんですね。何気なく歌っていましたが、好きな歌でした。ところで面白いもんですね、最近政府はこの歌と同じようなことを言い出しています。一億総活躍社会だ、高齢者も元気なうちはしっかり働きましょう、などなど。私も六十はとくに過ぎてしまいましたが、まだまだ元気いっぱい船(ろ)をしならせてみますよ。

敬老の日特集 第1部



生駒市最高齢 108 歳、森本都様を囲んで！

お祝いコメント① 松岡利和 養護施設長

思い起こせば 15 年以上前に梅寿荘に来られた時点で、既に 90 歳代でした。これまで多くの長寿の方をお祝いしてきましたが、ここまできると感無量としか言えません。明治時代から現在の令和まで 5 つの時代を経験、今年が 9 回目の年女。聞き慣れない数字がいくつも付いてまわります。このような偉業にも関わらず、写真のケーキをおいしそうに食べているお姿が（失礼な言い方ですが、小柄でいらっしゃるの）とても可愛らしく、敬愛しています。

お祝いコメント② 中江智美 養護主任

今年も笑顔の都さんを囲んでご入居者の皆さんと共に誕生日のお祝いができたことを職員一同とてもうれしく思っております。

また、このたび、「市内最高齢者」となられたとのことのお知らせをいただきました！

生駒市では市長の表敬訪問は「白寿」の方の所と決まっています。華やかな場がお好きな都さん。特別に来て下さらないかなあとひそかに願っていたところ・・・ひょんなことから市長との対面も叶いました☆（近隣施設に訪問されているところを偶然発見！無理を言って私どもの施設にもお越しいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。）

お洋服を整え、いざ市長の前にお出ましされた都さんもやっぱり笑顔！！

「また来ます」の市長のお声かけに「よろしく♪」とおっしゃっていました。

いつまでも素敵な笑顔でお過ごし頂く様に、これからも精一杯お世話をさせて頂こうと思っています。

敬老の日特集 第2部

敬老会では毎年各ユニットが趣向を凝らして楽しい出し物を披露してくれます。
今回の出し物について各ユニットから紹介してもらいました。

3F パンジー・コスモス ユニット

毎年パンジー・コスモスは敬老会では獅子舞を恒例にしていた。今年も獅子舞を考えてはいたのですが職員のメンバーも若干変わったこともあり、恒例の獅子舞をやめ色々考え今回は植田リーダー発案でリーダー、サスリーダー二人で漫才をすることになりました。敬老の日を皆さんに笑って過ごして頂きたいと思い今日まで練習してきました。どうぞお楽しみに下さい。



3F カトレア・サルビア ユニット

カトレア・サルビアでは例年敬老会で水戸黄門を行ってきましたが、今年は心機一転してファッションショーを行いたいと思います。ファッションショーとは綺麗に着飾った姿をテンポの良い音楽を聴きながらお客様に見て楽しんで頂くもので、普段から見慣れている職員が男女逆転した衣装で着飾ったり、お化粧しているビックリな格好で現れます。いつもの職員の顔を思い浮かべながら、その勇姿をご鑑賞ください。ショーの途中からはいつもの美川健一の握手会もあります。有名曲のさそり座の女も流れますので楽しんで聞いて下さい。

それでは令和元年の敬老会の出し物もこのショーで最後になりますが、皆様最後まで楽しんでみてください、笑ってください。

新人職員グループ

今年は、去年できなかった新人さんも合わせて7名で出し物をします。出し物と題目を付けたのは二つ出し物をさせていただくためです。一つ目は、皆様お馴染み知らない人はいないでしょう。二人ばおりで化粧をしたいと思います。うまくできるように皆さま温かい目で見



届けてください。そのまま、これも皆様ご存じのてんとう虫のサンバをみんなで合唱させて頂きます。てんとう虫の衣装を作り雰囲気もしっかり出しています。さらにサプライズ衣装もありますのでお楽しみください。下手かもしれませんが新人一同頑張りますので、皆様お楽しみください。

2F あじさい・ひまわり ユニット

あじさい・ひまわりユニットの出し物は、「ひょっとこ踊り」と氷川きよしの「大丈夫」を歌って踊ります。

ひょっとこ踊りは九州、宮崎の日向市の踊りです。狐が村一番の美女おかめを誘い、夫のひょっとこと村の男たちが追いかけるという設定のとても滑稽な踊りです。お楽しみ下さい。お手拍子もよろしくお願いします。

もう一つは、とっても元気になる歌に出会いました。氷川きよしさんの「大丈夫」という歌です。梅寿荘の氷川きよしさんをお迎えして、歌って踊ります。「梅寿荘で過ごして大丈夫!」と思ってくださる様に、一生懸命に踊りますので、皆様応援をお願いします。



2F さざんか・すいせん ユニット

さざんか・すいせんグループからの出し物は、「チコちゃん」と「パプリカ」です。

「チコちゃん」は、NHKの番組のキャラクターで5歳児の女の子です。歯に着せぬもの言いで突っ込む、愛されるキャラクターです。口は悪いですが、決して悪い子ではないので温かい目で見てください。

「パプリカ」は2020年に開催される東京オリンピックの応援ソングで小さい子どもに今、大人気の歌です。とても明るく楽しい曲なのでよかったら皆様も一緒に踊ってください。



1F 養護

養護の今年の出し物は、暴れん坊将軍で有名な時代劇のカリスマ「松平健」が歌う「マツケンサンバ」です。有名な歌なのでご存知の方も多いと思います。毎年恒例だったサルカトユニットの水戸黄門が終了となり、今年は養護が復活させます。水戸黄門からマツケンサンバへのつながりが見どころになっています。マツケンサンバのサンバとはブラジルの代表的な音楽の一つです。賑やかに陽気に歌い、軽やかなラテンのリズムで踊る「マツケンサンバ」—どうぞお楽しみください。

敬老の日特集 第3部

—— 敬老会フォトギャラリー ——



2F さざんかすいせん
チコちゃんのパブリカ



2F あじさいひまわり
氷川きよしの「大丈夫」



頑張る MC コンビ！



新人職員も頑張りました！



養護 水戸黄門は消えず
マツケンサンバ参上！



恒例の花束贈呈式



3F サルビアカトレア
ファッションショー



3F パンジーコスモス
MANZAI!

今年も夏祭りがやって来た！

夏の恒例行事、梅寿荘夏祭りが今年も去る8月9日（金曜日）1階地域交流ホールで盛大に執り行われました。毎年のように大勢の利用者そしてその家族様にお集まり頂き、趣向を凝らした屋台からのお食事と舞台での楽しい出し物や恒例の輪になって炭坑節を踊ったりして楽しいひと時を過ごして頂きました。

夏祭り実行委員会一同



新しくて懐かしい夏の風物詩・スイカ割り

また今年からの新しい試みで、各フロア各ユニットで利用者の皆様にスイカ割りを楽しんで頂くことになりました。ここでは、去る8月12日さざんかすいせんユニットで行われた様子をご紹介します。

スイカ割りと言えば地面に置いたスイカを棒で叩いて割りますが、室内ですから汚れてしまうのでまずブルーシートを張りました。スイカ割りの醍醐味は棒で叩いて割ることなのでスイカの上に風船を乗せ、棒に見立てた紙筒で叩いて風船を割ることでスイカを割った雰囲気を出しました。利用者の皆様にはとても楽しんで頂け、場の盛り上がりもとてもよかったと喜んでおります。





お盆の帰省、今年は一週間三重県尾鷲市にある実家に帰って来ました。

初めの四日間は台風の影響で天気が悪くほとんどどこにも出掛けられませんでした。

台風が過ぎてからは晴れたので、子供達が楽しみにしていた海水浴に出かける事ができました。実家から 15 分程の所にあり、子供達も波で遊んだり、砂浜で山を作ったり、砂の中に埋まったりして 1 日楽しむ事ができました。近くに川もあるので、来年は川にも行きたいと思います。



ことぶき第92号

2019 年 10 月号

編集後記



表紙写真：おめでとう108歳、生駒市最高齢に！

寿 92 号 (10 月号) お手元にお届けいたします。10 月号と言えば、毎年お決まりの敬老会特集。ただそれで誌面が埋まるほど容易いものではありません。残る誌面をどうするか。今回そこへ力強い助っ人が現れました。養護の森本都様、誌面で既に触れましたが 108 歳で生駒市内での最高齢者となりました。先日敬老会の折、お姿を遠目からでしたが拝見する機会に恵まれました。いつまでもお元気でいて頂きたいと誌面を借りて申し上げます。さて、その寿ですが、なんとか皆様に楽しんで頂ける良い塩梅に出来上がったと存じます。どうぞ存分にお楽しみください。ではまた。

(広報委員会：河井、服部、岡崎、石田、田中)